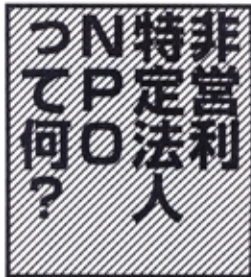


WEB SHIMIN
「市民フォーラム」
アドレス：
<http://www.camelianet.com/shimin>

SHIMIN PRESS

市民プレス：発刊準備号

2001年12月18日
発刊準備号
デジタル工房
〒353-0004 埼玉県志木市本町 5-18-24
FAX 048-476-9111
編集 原 昭 二
印刷・発行 デジタル工房
無料配布



NPOは英語のノン・プロフィット・オーガニゼーション(NON-PROFIT ORGANIZATION)民間非営利組織)の頭文字から取られている。1998年特定非営利活動促進法の施行によって法人格が認められた。
NPOは非営利組織の全般を指しているが、法人格を取得したNPO法人の数は急速に増えつつある。NPOは地域または社会全体に奉仕する性格をもつため、しばしばボランティアと同義語と取られることがある。
NPOはたしかにボランティア的な奉仕活動に支えられてはいるが、活動にかかった諸費用を受け取り、定款を定め、法人格を取得して、事業体として事業収入を挙げることが承認されたのである。
事業所得の免除などの税制の上での優遇、個人や企業がそれらに寄付する場合、所得税、法人税の免除も受けられる。委託費、助成金、寄付などを受け取って財政運営をするNPOは、欧米ではすでに社会にしっかりと定着しており、わが国でも今後重要な企業となることが期待される。

NPOが、行政、営利を目指す企業法人と並んで、三大セクターの一翼を担う日が来るのはそれほど遠くではないと思われる。

Web「市民フォーラム」の紹介
市民と行政の情報の共有を求め「市民フォーラム」がすでにオープンしています。
インターネットのホームページ「市民フォーラム」愛称「御意見番」
アドレスは<http://www.camelianet.com/shimin> でどなたにも御覧いただけます。「公民参加」が主なテーマです。

「電子掲示板 Bulletin Board System」(愛称「市民の御意見番」)には、すでに多くの市民の方々の御意見が寄せられています。書き込まれた意見でも何方でも、書き込み歓迎です。
● 市民と行政が情報の共有を目指す北海道ニセコ町の「基本条例」
● 埼玉県の県民コメント制度

電子政府って何？
米国におけるPublic Involvement (公民参加)の6つのステップ
● 公民事業の転換—住民の参加を選択する
● 公開資料/志木小学校校庭の工事関連
● 古い校舎を解体せず廃棄物を抑制
● 学校の安全手引きを見直す
● 全国の市・区 公民事業ピークの7割 など。

「公民参加」って何？
私たち市民は住みやすい住環境を求めています。その第一に挙げられるのは生活し易いこと、利便性ですが、自然環境、景観などの背景も暮らしにとって欠かせません。
そこで行政は市民の平常の暮らしを守り、またより良い環境を創ることを目標として公民事業を計画し、実行することが求められています。
公民事業は税金を基本としていますが、経済活動が活発になるにしたがってその規模が大きくなり、特に巨大な土木、建築計画が市民、住民の日々の暮らしや、心の落ち着きに動揺を与えるケースが多くなり、ときには生活の変革を迫ってきます。事実公民事業の「見直し」が、各地で頻りに取り上げられています。
ところが欧米ではこのような問題を解決するため、新しい考え方として、「市民の公共への参画」Public Involvement Pt. またはPublic Assessmentがすでに定着しています。
● 行政と住民が対話を重ねる
● 情報を共有することを基本として、市民は行政の考えを知る権利と行政に意見を言う義務があることを明確に示す(市民が行政にお願いしたり、陳情する従来の方式とは異なり、市民のための「情報共有の条例」をつくる)
● 行政が、計画の初期の段階から住民にプランを示し、多様な意見の交換を通じて実行に移すプロセス、住民参加、合意の形成は公民事業では不可欠
● 住民に計画の内容を詳しく説明することを行政に義務付ける

★ 特定非営利法人「市民フォーラム(仮称)」の設立を目指して
● 設立趣意・・・
この法人は、地域の住民と行政に対し、取材を通して公民参加のコーディネートを行い、暮らし易い地域の創出に寄与することを目的とします。
この法人は、次の種類の特定非営利活動を行います。
① 社会教育の推進を図る活動。
② まちづくりの推進を図る活動。
③ 環境の保全を図る活動。
④ 前項に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動。
この法人は、その目的を達成するため、特定非営利活動に係わる諸事業のほか
◆求人◆
◇取材、インタビュに興味をもつ方。
◇文芸に興味をもつ学生を歓迎します。経験、年齢などを問いません。
◇採用は即時、給与は月額315万円、詳細は面談とします。
◇デリバリーを担当してくださる方。
◇地域別各戸に新聞などを配達する仕事です。現行の平均的な給与とお考えください。
○お問い合わせは0901-304815502 (デジタル工房) 原宛にて

「自分史」をつくりませんか？ 御相談はデジタル工房へ
FAX:048-476-9111
御自身で書くことが面倒な方には本工場のスタッフがインタビューして、口述・筆記・編集のお手伝いをします。費用は実費で、小部数、保存、頒布のための製本も可能です。むかしの写真を入れて、手造りのデジタルで本をつくる、あるいは電子版(CD-ROM)制作のお手伝いを致します。

発刊のことば

暮らし易い地域を創るために
本紙はつぎのテーマに取り組みます。

市民の方々の取材を通して
皆様とともに考えます。

- 市民と行政が情報を共有するために
- 市民の公共参加を考える
- 住民の暮らしをサポートする情報を求めて

本紙を編集・発行する母体として
非営利特定法人 NPOの
設立を目指しています。

私達の立場は政党、宗教にはすべて中立です。

◆市民の暮らしを支援する行政方針の策定
NPO活動の促進に関する行政方針の策定
NPOは、市民の多様なニーズにきめ細かく対応する存在として、今後ますます重要な役割を果たしていくことが期待されています。
このため、県では、NPO活動を促進するとともに、NPOと行政との対等

◆市民の暮らしを支援する行政方針の策定
NPO活動の促進に関する行政方針の策定
NPOは、市民の多様なニーズにきめ細かく対応する存在として、今後ますます重要な役割を果たしていくことが期待されています。
このため、県では、NPO活動を促進するとともに、NPOと行政との対等

◆市民の暮らしを支援する行政方針の策定
NPO活動の促進に関する行政方針の策定
NPOは、市民の多様なニーズにきめ細かく対応する存在として、今後ますます重要な役割を果たしていくことが期待されています。
このため、県では、NPO活動を促進するとともに、NPOと行政との対等

の休刊を 惜しむ

志木タイムス

Monthly SHIKI-TIMES

月刊のローカル紙として4年余りの間地域の福祉・教育・文化・商業などの分野で、市民のための情報を発信されてきた「志木タイムス」が今年の3月号をもって休刊されました。市民の皆さんからその休刊を惜しむ声が上がっています。このたび、先輩格の同紙を学ぶ趣旨で、多くの記事の中からいくつかの論説、コラムを選び、発行人の許諾を得て再録させて戴きました。これらに負けない適切な取材、編集によって地域の暮らしに役立ちたいと念じています。

記事の再録その1
志木小学校の工事計画に
ついて
(三月号より)

複合化施設 どう進展

学校教育の意識改革 生涯学習の点から見直す

全国的にも珍しい小学校・図書館・公民館3施設を複合化する、志木小学校等複合化施設(仮称)はいよいよ今年6月頃から着工することになった。

見直しを求める陳情書が出されるなど志木小学校の保護者たちの間で建設を心配する声もあり、本紙は細田信志志木市教育長に複合化施設の概要についてインタビューした。

志木小学校等複合化施設 の今後の予定は?

細田教育長
今年6月に着工し、平成15年3月に完成予定です。

その間、体育授業や運動会はどうしますか?

教育長

体育は校庭の一部と体育館を使って行います。運動会は学校行事なので学校とよく相談し、私たちが支援できることは出来る限り援助していくつもりです。

公民館・図書館の跡地はどうでしょうか?

教育長

跡地検討委員会は地元商業の振興などを含めた駐車場にする予定、と話しています。

管理カメラは設置しますか?

教育長

校内、校外に設置し、職員室・生涯学習室・図書室(機器管理室)のモニターで常に監視することになっています。将来はそのカメラで野鳥観察等にも利用できるようにしたいと考えています。

学校内の保健室は公民館や図書館を訪れた人も利用できるのですか?

教育長

基本的には入室を禁止します。

複合化施設の管理責任者は学校長?

教育長

現在検討中です。学校と生涯学習施設(公民館・図書館を統合)を一つと考えていますので学校長と施設長(仮)の上で「総合館長(仮)」をおくことになるかもしれません。そうなれば必然的に「総合館長」が管理責任者になります。

学校は聖域、という考えが私たちに染み込んでいます。特に学校関係者にはその傾向が強いと思えます。複合化施設に学校関係者は対応できるのでしょうか?

教育長

確かにおっしゃる通りだと思います。しかし、社会全体の急速な変化は学校自体の変容を、要求しています。その結果、学校教育を生涯学習という観点から見直す必要があると考えられています。

学校の現場関係者や保護者の皆さんも「学校は聖域」という考えを捨て、「学校だけで教育は完結できない」という考えに変わるべきだと思いませんか? そのような意味において、今回の複合化施設は学校教育現場や保護者の皆さんが意識改

革をする絶好のチャンスを与えてくれると信じています。

最後に志木小のシンボルの桜の木はどうするのですか?

教育長

志木小の卒業生にも桜には様々な思い出がいついばいあるでしょう。検討委員会の意見などを尊重し、移植することになりました。同時に桜の若木も植えます。

「老木はA志Vを高く掲げて遅く生きてきたA木、若木はA志Vをさらに高く掲げて21世紀の新たな創造に向かって力強く生きるA木」(市議会定例会での教育長答弁抜粋)老木と若木の同居は、子供たちに命の尊さを教えてくれると思っています。

お忙しい中、ありがとうございます。今後の形にせよ、今後も市民に向けてこのような発信を切にお願致します。

記事の再録その2
今年予算について
(三月号より)

29億余複合化施設へ 新年度予算案可決 一般会計 1771億円

志木市は平成13年度予算案を2月21日に開会した市議会に提案、可決した。

一般会計は1771億6000万円、前年度当初予算の9.3%増。前年度の一般会計が8.7%減だったことや朝霞、和光、新座市との比較を考慮すると、積極的な予算と見えます。

昨年完成した志木駅東口再開発事業で誕生した「マリイ」からの法人税など9800万円を含め市税の増収を見込めるとしながらも、地方交付税が7億円減など財源不足は事実で、市債の依存はさらに強まっています。

本年度発行する市債は10億3300万円、昨年度の324.4%増。これで市債の発行残高は合計約134億円となり、利子返済は年間約4億円になる。

細田喜八郎志木市長は議会の初日の演説の中で「志木小学校等複合化施設建設事業など将来への先行投資」と説明している。

主なる事業は次の通り。
▽(仮)志木小学校等複合化施設建設事業約29億7000万円▽市民がパソコン・インターネットの基礎を習得するためのIT講習会事業(約2000万円)▽宗岡公民館耐震補強工事1200万円▽乳幼児医療費助成の対象年齢を引上げる事業(約1億8000万円)▽介護老人福祉施設等の建設に對しての補助金1億5000万円▽新河岸川の洪水の軽減を図るための排水機場建設事業約1億円▽廃プラスチック回収業務委託事業約1300万円など。

(再録はこれまで)

◇ 後日談 ◇

「Web市民フォーラム」 で初めて取上げたテーマ 志木小学校の改築工事計画

前の市長が最後に残された、志木小学校校庭の大きな改築工事の計画について、「Web市民フォーラム」は、慎重な見直しを行政当局に求め、電子掲示板をスタートさせて、市民の方々の意見を呼び寄せ、これらの意見を要約してポスターやちらしの制作頒布によって市民の皆様に訴えてきました。残念なことに、Web市民フォーラムの「Web市民フォーラム」の市長が交代され、見直しの好機となることを期待していましたが、工事の見直しは4月にはじめ、新任後直ちに工事を開始され、校庭には巨大なクレーンが立ち並びました。

桜の樹木は伐採され、校庭は閉鎖、在学中の生徒の教育環境は悲しいものとなりました。そして工事は延々明年一杯続けられるとのこと。今年も、また来年も秋季運動会は挙行できません。永年新入学児童と父兄に親しまれてきた、満開の桜に囲まれた入学式は、もはや失われてしまいました。

志木小学校校庭の工事計画について、行政当局はもつと真剣に市民の声を聞き、計画について見直されるよう祈念していただきます。

市民の皆様、手を挙げ、声を大きくして下さい。お願いいたします。我々の税金を沢山使う事業でもあり、もし出上がってからの使い勝手の良いものとなったらということをわたくしどもは真剣に恐れています。

投稿欄

改築校舎で子供が守れるか?
投稿: ストッパー

やはり懸念していた痛ましい事件が起きた。6月8日、志木小の複合化工事に懸念を示していた親達の皆さんは、きつとあの大阪池田の痛ましい事件を同じ気持ちで見ているだろうと思ふ。その日の夜の各ニュースでは、「開かれた学校」という構想について、疑問を投げかける声を取り上げられていた。複合化される志木小こそそれではないか? 複合化されれば間違いなく、小学校と関係ない人も自由に出入りして、不審者の判断が容易でなくなる。あの構想で、一体誰がそれを判断し子供達の安全を守ることが出来るのか? 先生方は、教育することが仕事でありそんなことまで求めるのは酷だ。実際、今回の事件でも子供を守るうとして先生までも被害を受けている。開かれた学校構想もその精神は分らないでもないが、残念なことには現代は何が起こるか分からない時代だ。簡単に人が人を殺す。自分が子供の頃と違って、子供がなんの不安もなく遊ぶことが出来る環境が少なくなっている。せめて、学校で「遊び」環境を用意してやりたい。志木小がこの事件の二の舞にならぬよう、今からでも構想を再考すべきである。出来てしまつてからは遅い。

計画見直しを! —
投稿: 納税者

本間にこのまま工事が始まつてしまふのですか? 立替は必要かもしれませんが、私たちが市民の意見をもう少し検討してからでも良いの



工事中の志木小校庭。



米の専門店
出下米穀株式会社
本店 Tel (471) 0101
西ヶ原店 Tel (471) 6022
北朝霞店 Tel (463) 9752

エスプレッソコーヒー
コーラ・サンドイッチ
インターネット常時接続
**サイバーテラス
カメラ**
志木駅東口から
直進2分
tel. 048-487-0767

焼きたてのパンとケーキの店
味と心のふれあい
Alis,bunka
アリスブンカ
志木市本町5-19-2 TEL 471-0002

作家 永倉萬治氏を偲んで



2000年に急逝された永倉萬治さんの代表作「武蔵野S町物語」が文庫版になりました。上はその文庫版の表紙。(ちくま文庫より定価780円+税。)

作家・永倉萬治氏の紹介

1948年志木市に生まれる。立教大学中退。東京キッドブラザースに在籍後、放送作家、広告プランナーなどを経て多くの雑誌にエッセイ、小説などを発表。

著書は講談社エッセイ賞の「アニバーサリーソング」をはじめとして、「あゝ結婚」「アナタの年頃」「黄金バット」「男はみんなギョクリ腰」「四重奏」など、いつもこいつも「みんなアフリカ」など多数。軽妙で、ウィットに富み、ユーモアとペーソスに包まれた作風は、若者から年配の方々に至る多くの読者に愛された。

コラム

「武蔵野のS町物語」とデジタル工房の原野二

いつでもお会いできると思っていたのは誤りだった。萬治さんが急逝されたことを知ったのはついこの間のことだ。しかし月日は矢のように容赦無く過ぎてゆく。

永倉萬治さんの書かれた「武蔵野S町物語」で舞台となったS町は、この物語はフィクションであるが、S町は実はいまのS市。池袋から北西に向かつて走る東武東上線沿線のベッタタウンに変容したS市に違いないのだが、わたくしはこの町に生まれ、この町で育った。S町に居住して何十年もの間、都内に通勤してきた。この町はわたしのベッタタウンでもあった。

いまわたしのこの物語に対しての思いは真剣である。この物語に描かれた情景を思い起こすことがわがころを動かすのは当然のことであるが、しかしそれだけでは、はるかに彼方、遠くに去ったわたしの少年時代の情感を鮮明に魅せ、この物語はまたわがころを洗い浄めてやまないものである。

S町は櫻の木が聳え立つ田舎の町。旧道、その道に沿って流れていた用水、「野火止用水」もとは川越と江戸とを結ぶ新河岸川の舟運で、陸路との中継点として三百年にわたって繁栄した町。

しかしいま、舟運は遠くには並ぶ大店(おおだな)市場として賑わった町は、無いですべてが消え、これらの情景の片鱗を探すことも

を立てて水面に輪がひろがる。一方小学校で、生徒がいない授業中の校庭は光で満ち溢れ、眩しくて、二宮金次郎の銅像は木の陰に隠れてやや暗い、隣の誘導員木には燦々と光があたっていた。

この光景は、実に今年の春まで変わらないうちに残っていた。いつでも校門の前で佇みながら静かなときを過ごすことができた。

しかしである。この校庭の真中に地上3階の公民館と図書館、そしてなんと地下2階の体育館を建築し、生涯教育を兼ねた施設(大人たちの「あそび場」になるかも)を併設する計画が突如出現し、工事のため景観は一変することになりそう。

永倉萬治さんが遺されたS町物語の舞台を、その中に記された子供たちのころの葛藤や、夢や涙を一緒にして、すべてを過去のものとして押し流してしまおうか。失われるものはわたくしにとって余りにも大きい。無念である。

では?行政が勝手にどんどん進めようとする。今の世の中は逆行ばかりです。建築業者のいいなりなのではないですか。ものすごく大きなプロジェクトなのだから、市民からの意見も取り入れて欲しい。あんまり強引だ、なんか裏であったのではないかと疑ってしまいます。立派なものではないか本当に子供たちのことを考えた校舎の建築を希望します。早期に計画の見直しをしてください。

志木小立替え工事につきましても、なんとも訳のわからないうちに工事着工のことですが、先日学校より校舎の移転に関するアンケートがありまして、その文面はでる限りサクサクの木を切るように誘導を意図したものでした。もともと学校建設というものは100年先を考えて親たちがそして地域社会が子供達の将来のためで得る限り良いものを立てるべきものです。したがって目先の利益に捕らわれず行動すべきでしょう。まず第一の問題点は建設の理念が明確でないこと、もしくは周知していないこと、そして、なぜ複合化が必要なのか?あたかも建設業者にリードされともかく不景気な時期なので学校でも作るのかとの印象が拭きません。戦後日本は復興のため経済効率を国是とし高成長を遂げてバブル期をへた。西欧流価値観をワイルドスタンダードと思いつく自分の頭で考える事なく信じておりました。なるほど衣食足りて礼節を知るといふことは事実と思えますが、飽食の時代となり際限の無い物欲の追求は人類を生物界でもっとも強いがための自滅への道に墮ちてしまっている気がいたします。なにも工事費が高額であれば良い学校と言う訳ではないと思っております。大人である我々が将来の日本を世界を託す子供達のためもう少しゆとりと考えたらどうでしょうか(後略)。

志木小学校の建て替え計画、心配してました。何のために公民館や図書館が一緒になるのか分かりませぬ。子供達に陽の当たる運動場が必要で、図書館でも、子供のためか成人のためかによって施設や内容も異なります。現在の公民館や図書館はどうなるのですか。四市合併の話も聞きませんが、市民への十分な説明なしに進めたい。目下、思っています。目的、届く範囲の地域の生活をよくすることから始めていたのだと聞いています。声を上げていただいた「市民フォーラム」に敬意を表します。

※Web市民フォーラム掲示板・「志木市民の意見箱」より抜粋させて頂きました。

しかし彼は12年前に脳溢血で倒れてしまふ。右半身マヒ、言語障害の後遺症が残る。作家としての復帰は不可能と思われた。それでも聞わず彼が持ち続けた創作への意欲を支え、彼の作家活動を持続させた方がいた。

奥様の有子さんである。有子さんは文章を推敲し、校正する作業に取り組み、二人三脚で実に26冊もの著作を出版した。それはまさに不可能を可能にしたものと言わねばならない。

しかしそんな日々の中、昨年10月合気道の稽古中に再び倒れ、萬治さんは永遠の旅路に立たれてしまった。享年52歳。

萬治さんは昭和23年生れ、わたくと彼とは年齢が一回りも違うのに、書かれてあるS町の情景はわたしの少年時代とほとんど変わらない。

かつては時の流れはいまよりずっと緩やかであったのだ。

S川(新河岸川)に近く、古い沼があった。女まきめと呼ばれていた。

明治のころまでは、この川は激しく蛇行していたが、河川の工事で断ち切られた部分だ。

萬治さんの物語り以後、この沼は埋め立てられた。そこに大きな市役所のビルが建てられた。

女まきめ、の水面に釣糸を垂らすと、ポチャンと音

志木市郷土史研究会では、創立30周年を記念して、郷土が生んだ人気作家永倉萬治さんについての講演会を実施しますので、一人でも多くの市民のご参加を期待しています。

共催 志木市郷土史研究会 伊豆殿堀フォーラム

日時 平成13年1月27日(日) 午後1時30分から

場所 志木市公民館1階103号室

演題 作家・永倉萬治を語る -『武蔵野S町物語』を通して-

講師 永倉有子さん (故永倉萬治氏夫人)

入場 無料

病院に在る間に、僕の頭の中には、その当時のS町(埼玉県志木市の地図が出来上がった「中略」)出来るならば同じ町に生まれ、昭和三十年代をともに過ごした人たちがすべてに読んでほしいと思つた。永倉萬治「大復活」

ADRIA

マックスファクター・レブロン・イグニス
アルビオン・ブルガリ・ミスエレ・MD
志木ダイエー専門店街(1F)
Tel. 048-472-0154

染色研究会 **蘭**

埼玉県美術家協会会員 県定指定審査員
志木市美術協会理事 朝霞市工芸協会会長
染色研究会 蘭 主宰

原 梢 美

〒351-0031 朝霞市宮戸3-7 TEL・FAX 048-472-2304

藤間千景舞踊教室

藤間流日本舞踊入門随時受付

「浦和教室」「志木教室」「北海道帯広教室」

〒336-0911
さいたま市三宮413-10
TEL・FAX 048(875)5574

大江健三郎さんのエッセー集「自分の木の下で」がベストセラーになっていますが、この本が表題とした「自分の木の下で」から、人は皆自分で納得できる道を歩んでゆかなくてはならない、という著者の強い意志が伝わってきます。

それは「あくまで「自分」というものを持って、世間というものに飲み込まれてしまわぬように」というある種の教訓とも受け取れるものです。

「イント」欄第一回目は、このエッセー集の書名にあやかり、「世の中がどう変わっても、変わらぬ自分の道を開拓して行きましよう、それこそ本来自らすべきことなのですから」という考えを主題に掲げ、そのために読者のみなさまに少しでも役立つ事項を無作為に取り挙げてみたいと思います。

1、自分の身体は自分で守る「インフォームド・コンセント」

「インフォームド・コンセント(説明と同意)」とは、医師に相談し、説明を求めることを云います。病気になるに当たっては、病気がすぐれないときにはお医者さんに掛かる、その費用は保険の適用を受ける、といったプロセスはごく当り前の流れになっていきますが、多くの場合、簡単な診断結果の説明、治療の心構え、薬の処方箋の交付で初診は終わります。

医師が診察結果などを記録することは義務付けられていますが、患者に対しての説明は簡潔な場合が少なくありません。多くの場合、次の患者さんが後に控えており、余程神経の太い方でないと、もっと詳しい説明を求めることはなかなかできないものです。

①しかし病気の軽重に拘わらず、自分でより突っ込んだ質問ができ、納得しないまま治療を続けることの危険性は非常に大きいものです。事実、思うような治療効果が得られない上に、診断、治療法の誤りが致命的な事態を生んでゆくこともしばしば起こります。

患者と医師その間に実は大切なプロセスが欠けているのです。それが「インフォームド・コンセント」です。自分の身体は自分で直すという言い過ぎになるかと思いますが、治療をする際に、自分で納得してから治療をスタートさせることは、自分のためにきわめて大切なことです。指針が無ければ病を克服して快方に向かわせることは難しいことです。



2、ワークシェアリングの到来?

健康保険に適用され、その点数も決められています。それなのにわたくしは、はよほど恥ずかしがりやなのか、あるいはこのような謙虚さがある日本人の美徳なのか、それほど利用者が多くないような気がしますが、それが自分の身体を自分で守るためです。謙虚さを抑えて、少しでも納得した上で治療に当たるのがベストではありませんか?

若い女性が友達と一緒にアパートやいわゆるマンションの一角を共同で賃借し、一緒に暮らす、といったシェアリングは、目新しいものではない。シェアリングによって賃料や光熱費などの経費を節約し、多くの利便性を共有することはきわめて合理的な暮らし方である。特に若い女性が一人暮らしに悩まされ、外部から侵入される危険もある中で、シェアリングによって身を守ることができるといえる。

ところで、同じ大学の学生がシェアすることは少なくないが、最近では若い男性が同様のシェアリングにより利便を得る例が増え、以前は同居と云われてきたような、単に飲食、居住を同じくするにとどまらず、例えばパソコンやインターネットを共同で使用することなどが、互いの知的交流、技能の相互利用などに進み、知識の共有、相乗的な効果をも期待できる。

「フリーター」は自由の旗手となるか
高校を卒業した若者の多くが、まずは「アルバイト」で働く。それから次の仕事を目指す。アルバイトの語源はドイツ語、働くという意味のことばである。戦時中ドイツ語に初め触れた旧制高校生が好んで使ったことばが起源となった。

3、フリーターは自由の旗手となるか

「フリーター」と自らを呼ぶのは、「フリー」のアルバイターを短縮した80年代の造語のことだ。組織に縛られない自由な生き方を求め、保証の少ないアルバイトとしての雇用を敢えて選ぶ若者は、その後も増え続けている。自分に対して忠実な道である、リスクを恐れぬ若者らしい生き方という見方もできる。

ただし実際には企業が人件費の削減のため、正規の雇用である所謂「社員」の雇用を減らし、それと半比例してフリーターを採用するという風潮のなせるわざである。企業の業績の低迷に伴い、終身雇用が崩壊しつつある今日、職業決定の仕方はまったく変わってしまったのである。企業がフリーターを求める時代の要請は変わらな

ものとなり、新たな雇用対策として注目を浴びている。兵庫県は職員の残業を減らすため、98年に毎週水曜日定時退庁日と定め、電灯の消灯を決め、残業代約5%を節約、一方で、非常勤ではあるが、原則1年、週30時間の契約で採用されたフリーターは、実務経験を積み就職に生かす夢を育てている。若者の職業の創出につながるか、この方式の今後に期待したい。

「IT (Information Technology) 社会を目標とする」は現代日本が本気で唱えている掛け声である。パソコン、インターネット、ホームページ、eメール、iモードを使えないと肩身がせまい。まるで遅れた人間と見られかねない。ところで日本のインターネットの政策は、通信回線の機能の増強など、何かとハード面に力が入る。しかし如何に通信回線が高速度化しても、内容が伴わなくてはまるで意味をなさない。

4、自分の木の下で

「はこもの」の増強では困る。パソコンを買ってしまえばいい。自分のやりとを自分で決める。自分の木の下でパソコンを仕事に生かす。わたくしのお奨めは、パソコンに先ず触ってワープロを使ってみる。つぎに表計算をやってみる。画面上で絵が写真的修正をしてみる。いま代表的なのはソフトは「ワード」、「エクセル」、「フォトショップ」というところになるか?

そしてインターネットの中を覗いてみる。ヒントとしてみるのは「超」シリーズで有名な野口悠紀雄先生の「本とホームページ」超活用法。たとえば、「パソコン超仕事法」(講談社)。
<http://www.noguchi.co.jp/>
そのコンテンツは...

インターネット情報源
インターネット「超」活用法
日本と海外の新聞、雑誌
オンライン雑誌
日本のテレビ局
政府と大学
など。

書評

大江健三郎著
「自分の木」の下で
(朝日新聞社刊)
ノーベル賞受賞者の大江さんの著書は内容が堅くて、すらすら読めるような大衆性が乏しいので、近ごろこうした方が少なくない。しかしこの本は少しばかり違っています。何故かという、はじめから子供にも読んでもらおうことを意識して、平易に書き綴ることを心掛け、そして自分が子供であった頃に、もどって素直に書き綴ったエッセー集です。

表題とした「自分の木の下で」から、人は自分で納得できる道を歩んでゆかなくてはならない、という著者の意志が伝わってきます。著者が小学生のころ、太平洋戦争下のことですが、当時は国民学校と呼ばれてはいた小学校で、先生は天皇は神である、そう信じなさいと教育されてきました。その写真に礼拝させ、アメリカ人は鬼畜だと云って、日本に進駐するやいなや、その先生が、まったく反対のことを云い始めたのです。これまでの考え方、教え方は間違っていたとは云わず、ごく当り前のようには天皇は人間、アメリカ人は友達だと教えるようになったのです。

進駐軍の兵士たちが、ジブチに乗って谷間の小さな村に入ってきた。その村に生まれ育った生徒たちは、手製の星条旗を振り、ハローと叫んで迎えたのでした。このような光景は全国のいたるところで見られたのです。子供の大江さんはこのような雰囲気には馴染みませんでした。彼は学校を抜け出して森に入ってしまったのです。高いところから谷間を見渡し、ミニチュアのようなジブチの子供たちがハローと叫んでいる、その声をききながら涙を流し、その声に、翌朝から、学校へ向かうと、すぐ裏門を通り抜けて森に入り、夕方までひとり過ごすようになりました。秋のなつかしい雨が降る日も、森の中に入りました。雨はさらさらと降り、夜になっても谷間に降りて行くことができなくなり、行きました。発熱してしまつたのです。そして村の消防団に助け出されました。森の中には「自分の木」と決められている樹木があり、人の魂はその木の根元に宿っているという、大江さんの祖母さんのお話を聞いて、彼は「自分の木」の下に立ち続けることに目覚めたのです。

埼玉県不動産取引業協会会員
埼玉県知事免許(11)第1441号

株式会社 川島屋不動産

本社 〒353-0004
埼玉県志木市本町5-24-18 (東口駅前)
TEL 048-471-0401 FAX 048-476-3100

関口工業株式会社

〒353-0002
本店 埼玉県志木市中宗岡1-3-34
TEL (048) 472-2822 (代表)
FAX (048) 476-0369

Nishibu

西武エースプランニング

日本興亜損害保険株式会社 代理店
日本興亜生命保険株式会社

保険のことなら
お気軽にご相談下さい

〒353-0004 志木市本町1-1-4
Tel (048) 471-1633
Fax (048) 476-1638

学校法人細田学園

細田学園高等学校
細田学園幼稚園

理事長・校長・園長 細田早苗

〒353-0004 志木市本町 2-7-1
Tel 048-471-3255